




2. SBTiの運営機関

- SBTi (Science Based Targets initiative) は、企業が科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標を設定するための基準、ツール、及びガイダンスを策定する国際的な枠組み※
- CDP・国連グローバルコンパクト (UNGC) ・世界資源研究所 (WRI) ・世界自然保護基金 (WWF) の4つの機関が共同で運営

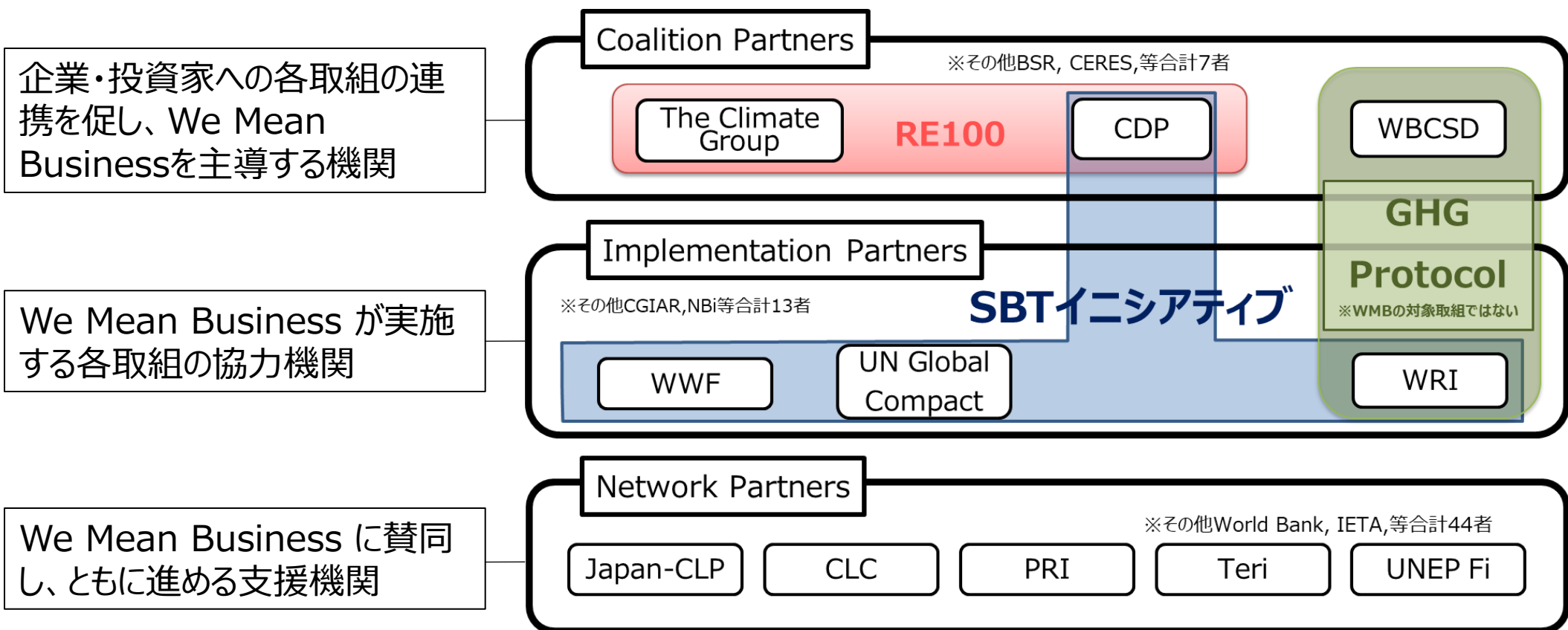
共同運営組織	概要
 CDP	<ul style="list-style-type: none"> • 企業の気候変動、水、森林に関する世界最大の情報開示プログラムを運営する英国で設立された国際NGO。 • 世界約23,100組織以上の環境データを有するCDPデータは640超の機関投資家のESG投資における基礎データとしての地位を確立 (2025年実績)。
 国連グローバルコンパクト (UNGC)	<ul style="list-style-type: none"> • 参加企業・団体に「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野・10原則を支持し、本質的な価値観を容認し、支持し、実行に移すことを求めているサステナビリティ・イニシアチブ。 • 1999年の世界経済フォーラム (ダボス会議) において、当時の国連事務総長Kofi Atta Annanが提唱し、2000年に正式発足。現在23,800の企業・団体が加盟 (日本は675の企業・団体が加盟 (2026年4月30日時点))。
 世界資源研究所 (WRI)	<ul style="list-style-type: none"> • 気候、エネルギー、食料、森林、水等の自然資源の持続可能性について調査・研究を行う国際的なシンクタンク。 • 「GHGプロトコル」の共催団体の一つとして、国際的なGHG排出量算定基準の作成などにも取り組む。
 世界自然保護基金 (WWF)	<ul style="list-style-type: none"> • 生物多様性の保全、再生可能な資源利用、環境汚染と浪費的な消費の削減を使命とし、世界約100カ国以上で活動する環境保全団体。

※ SBT (Science Based Targets) は科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標そのものを指す

We Mean BusinessとSBTi



- We Mean Businessは、企業や投資家の温暖化対策を推進している国際機関やシンクタンク、NGO等が構成機関となって運営しているプラットフォーム
- 構成機関は、このプラットフォームを通じて連携しながら、経済、金融、エネルギー、輸送、構築環境、産業、土地と環境といった7つの領域において企業による取組を広める活動を推進
- SBTは、企業取組の一つであり、SBTiもプラットフォームの1構成機関と位置づけられている



企業・投資家への各取組の連携を促し、We Mean Businessを主導する機関

We Mean Business が実施する各取組の協力機関

We Mean Business に賛同し、ともに進める支援機関